

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
機械工学概論	前期	木	4	1 時限 9:10~10:50	若干名
工業法規		木	4	2 時限 11:00~12:40	
生態環境科学		水	2	3 時限 13:25~15:05	
生活の科学		木	4	4 時限 15:15~16:55	
商品企画開発		月	4	5 時限 17:05~18:45	
臨床心理学		木	1		

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月10日(金)から開始します。一部変則な取扱がありますので注意してください。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR 高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和8年3月6日(金)必着
- (2) 申込先
〒369-0293
埼玉県深谷市普濟寺1690
埼玉工業大学 教務課 リカレント係
TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939
E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく
記入の上、お申し込みください。
①郵便番号・住所
②氏名(フリガナ)
③年齢(令和8年4月1日現在)・性別
④電話番号
⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
授業は原則として対面で実施します。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	機械工学概論 (長谷 亜蘭 准教授)	“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。
2	工業法規 (河田 直樹 教授)	製品開発の戦略上重要となる産業財産権や製造物責任法などの工業分野の様々な法規や産業規格の解説と、特許・意匠・商標の出願演習や法規に抵触して社会的に問題となった事例検討で授業を構成する。例えば IoT や AI を用いた技術について特許につながるアイデアを創出し、権利獲得までの流れとコツをつかむ演習を行う。
3	生態環境科学 (秋田 祐介 准教授 秦田 勇二 教授 本郷 照久 教授)	我々人間を含めたあらゆる生物を取りまく自然環境を「生態」といいます。本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察します。第一部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介します。第二部では、海洋の生態やその利用法について解説します。第三部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説します。
4	生活の科学 (松浦 宏昭 教授 田中 睦生 教授 青木 寛 非常勤講師)	我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学や材料化学、エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。

5	<p>商品企画開発 (山路 康文 教授)</p>	<p>複数の異なる業界の企業で、長年商品企画デザイン開発を担当してきた教員による、商品の企画開発の実際を理解する講義。食品から雑貨、家電まで幅広い業種業界の商品開発事例を通じて、商品企画開発で抑えるべき考え方や行動を学ぶ。</p>
6	<p>臨床心理学 (臨床心理学概論) (伊藤 淳子 教授)</p>	<p>臨床心理学（臨床心理学概論）では、人のこころを臨床心理学的に理解するための理論について、また人のこころの援助のための理論と技法について幅広く学ぶ。臨床心理学の基本的な知識や考え方を身に付け、専門的な学習を進めるためのがかりとなる材料を得られることを目的とする。</p>